

こころの^{年報}樹

事業報告 2013年度（平成25年度）

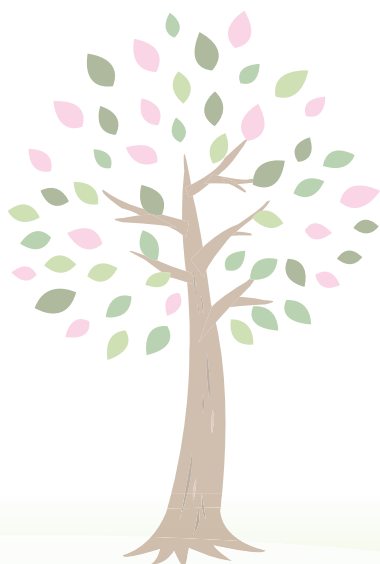


社会福祉法人
テレビ朝日福祉文化事業団

命の重さと
命の儚さと
命の大切さと…。

優しさと思いやりと勇気と
みんなの中に育つ
こころの樹に
若葉が茂り、幹が太くなりますように。

ともに生きることができる
ハートウォーミングな社会を目指し
私たちは、活動しています。



【略語解説】

(福)	社会福祉法人
(特)	特定非営利活動法人
(公社)	公益社団法人
(一社)	一般社団法人
(公財)	公益財団法人
(一財)	一般財団法人
(社)	社団法人
(財)	財団法人
(株)	株式会社

はじめに

東日本大震災から3年が経ちましたが、いまだに約26万7,000人（2014年3月11日現在）の方々が避難生活を強いられ、厳しい現実と向き合っています。そのような中、2013年9月、日本シリーズで東北楽天ゴールデンイーグルスが初優勝し、被災地に夢と希望をもたらしました。一日も早い復興を切に願う次第です。

また、同じく9月には、IOC総会で2020年オリンピック、パラリンピック開催都市が東京に決定し、うれしいニュースに日本中が沸きました。さらに、2014年2月～3月にロシアのソチで行われたオリンピック、パラリンピックでの日本選手の活躍も、大きな感動を呼びました。

うれしいニュースの反面、2013年11月、台風30号がフィリピンを直撃し、レイテ島を中心に甚大な被害を及ぼしました。

テレビ朝日では、フィリピン台風の被災者を支援するため、「ドラえもん募金」を11月14日から12月12日まで実施しました。お寄せいただいた募金にテレビ朝日からの寄付金などを加えた総額2,000万円を、确实・有効に被災者支援に充てられるように、2013年12月16日、以下の3カ所にテレビ朝日福祉文化事業団から寄託いたしました。

< 寄託先 >

特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画 WFP 協会	700 万円
特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム	700 万円
日本赤十字社	600 万円
計	2,000 万円

寄付金の最終的な金額については、確定次第、ホームページでご報告させていただきます。

皆さまの温かいご支援に、深く感謝いたします。

テレビ朝日福祉文化事業団は、これまで「児童福祉」「障がい者福祉」「高齢者福祉」など、時代の要請に応える活動を展開してまいりました。

当事業団が力を入れてまいりました児童福祉事業については、多くの方々にご理解、ご協力いただけるようになり、2013年度には、児童養護施設で生活している小学校5・6年生と中学生を対象に、新しい企画「農村ホームステイ体験の旅」を実施し、たいへん喜んでいただきました。

また、障がい者福祉事業の「トゥレヴァン コンチェルト」は、広く一般の方々にご理解いただけるようになり、大きなイベントとなってまいりました。

さらに2014年度は、新たに母子福祉事業にも取り組んでまいりたいと思っております。今後とも、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

★社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団は、1977年NETからテレビ朝日への社名変更を機に、より幅広い社会福祉活動を目指して設立されました。1951年制定の社会福祉事業法（2000年社会福祉法に法名改正）に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的として、第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人として申請・認可されたものです。



2013 Contents

はじめに	1
------	---

● Pick up 特集

第5回トゥレヴァン コンチェルト	4
児童養護施設で生活する高校生の海外生活体験の旅	6

● Part 01 児童福祉

児童養護施設児童対象のワークショップ	8
第2回子どもキラット! 楽演祭	10
農村ホームステイ体験の旅	11
江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会 2013 野球の部	14
児童福祉施設職員のためのワークショップ	14
第55回慈彩会展	15
第59回関東甲信越静里親研究協議会 横浜大会	15
こどもの国のお正月行事「ジャンボカルタ取り大会」「どんど焼き」	15
自立援助ホーム「憩いの家」バザー	16
日本児童養護実践学会第6回研究大会	16
第7回「家族週間」子育て童謡コンサート	16
IFCO2013 大阪世界大会	16

● Part 02 高齢者福祉

高齢者施設訪問	17
けやき坂カルチャー教室	18
第15回クプナ・フラ・フェスティバル	18
第5回国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」	19
高齢者への暴力防止プロジェクト助成	19
ポポロファミリー童謡チャリティコンサート	19

障がい者福祉 Part 03 ●

障がい者施設への設備助成	20
第 36 回車椅子バスケットボール秋季大会	21
内閣総理大臣杯争奪第 41 回日本車椅子バスケットボール選手権大会	21
日本車椅子バスケットボール第 10 回ジュニア選手育成講習会	21
第 37 回ハンデスキー全国親善大会	21
厚生労働大臣杯争奪第 43 回全国身体障害者スキー大会	22
第 29 回 関東大会（身体障がい者スキー）	23
第 28 回全日本視覚障害者柔道大会	23
第 17 回電動車椅子サッカー関東大会	23
第 38 回全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	23
第 7 回全東京ろう社会人軟式野球 TD リーグ戦	23
第 15 回ウィルチェアーラグビー日本選手権大会	23
第 29 回 DPI 日本会議全国集会	24
はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー 2013	24
チャレンジキャンプ	25
第 36 回わらじの会 夏合宿	25
むさしの会サマーキャンプ	25
Get in touch! 2013	25
第 30 回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト	25
その他の障がい者福祉事業・団体への支援	25
プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント	26
その他	26

その他の事業報告等 Part 04 ●

ドラえもん募金「フィリピン被災者支援」	27
ドラえもん募金寄託一覧	27
平成 25 年度 事業一覧	31
平成 25 年度 収支報告	32
平成 25 年度 ご寄付者の報告	33
テレビ朝日福祉文化事業団 役員・評議員	34
ご寄付のお願い	35

★第5回トゥレヴァン コンチェルト

◎主催

「トゥレヴァン コンチェルト」は、障がい克服して音楽の道を歩んでいる方々に演奏の場を提供し、その演奏を通じて「チャレンジする」ことの素晴らしさを知っていただくことを目的としています。2009年に第1回公演を開催して以来、年々多くの皆さまからご理解とご賛同をいただき、今年第5回を迎えました。

公演当日は台風の余波で雨の心配もありましたが、多数の皆さまがご来場くださり、素晴らしいコンサートになりました。

今回もスペシャルゲストとして世界的に活躍しているヴァイオリニストの川島成道さんをお迎えしました。川島さんは繊細で柔らかなヴァイオリンの音色で聴衆を魅了し、万来の拍手が会場に鳴り響きました。

そして川島さんと同様に視覚障がいを持つ二人の若い音楽家、澤田理絵(ソプラノ)さんと横山隆臣(ピアノ)さんに、各々の才能を遺憾なく発揮して演奏を披露していただきました。会場の皆さまは澤田理絵さんの華やかな歌唱と横山隆臣さんの若々しい演奏や第2回(2010年)から参加している社会人楽団のムジークフェライン室内楽団の演奏も心ゆくまで堪能されたことと思います。

この「トゥレヴァン コンチェルト」は来年も開催する予定になっています。

日 時：平成 25 年 10 月 19 日(土) 午後 3 時～5 時

会 場：メルパルクホール(港区芝公園)

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団

共 催：東京六本木ライオンズクラブ

東京原宿ライオンズクラブ

後 援：港区、港区教育委員会、

(福)東京都社会福祉協議会

協 力：日本郵政グループ労働組合 東京地方本部

運 営：障がい者芸術家を支援する会



出演の皆さんがステージ上に勢揃いしたカーテンコール

ご来場の皆さんの声から抜粋

♥川島さんへ。私は、筑波大学附属視覚特別支援学校小学部6年生です。私は学校で音楽の先生に川島さんのCDをきかせてもらって「ヴァイオリンって、きれいな音だな」と思いました…中略…コンサートでは、いろいろな曲の中には私にはむずかしくて、ちょっとわからない曲もありました。でも、大きなホールできいた川島さんのヴァイオリンは、やさしい音だなと思いました。いつかぜひききたいと思ったらお会いしたいです。

♥川島さん・澤田さん・ムジークフェライン室内楽団の演奏で、久々にクラシックを堪能しました。澤田さんのぜんまい仕掛けの人形の歌には目と耳を驚かされました(目はガイドさんの説明のお陰でした)。川島さんの超絶技巧には息を呑みました。横山さんはまだ荒削りですが、学生さんですからこの先どんどん

伸びて良い演奏者に成られることでしょう。会場ではスタッフの対応も親切で快適でした。次回に望むとすればプログラムを含む点字のパンフレットを充実していただきたいことです。今回はプロフィールしかありませんでした。是非演奏曲目も点字で読ませてください。来年も川島さんの素晴らしい音色に浸りたいと願っています。以上、本当にありがとうございました。

♥…前略…川島成道さんのヴァイオリンはほんとうに柔らかな音色で心にしみわたりましたね。澤田理絵さんのソプラノは、身体全体から発散する迫力がありました。私は全盲ですのでわかりませんがとてもスマートな体形だそうで、よく通る澄み切った歌声でした。自らの身体全体を楽器として堂々と同化しておりました。また、横山隆臣さんのピアノも楽しかったです。



甘く優しい音色で魅了する川島成道さん

＊川島 成道（かわばた なりみち）ヴァイオリン

1971年、東京生まれ。視覚障がいを負った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院を同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステータスの称号を授与され、首席で卒業。毎年数多くのリサイタルとボローニャ歌劇場室内合奏団やザルツブルグ・モーツァルテウム管弦楽団などオーケストラとの共演も行い、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開している。国内外で積極的にチャリティコンサートを行い、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。「Tulevan Concerto」には、2010年よりゲスト参加している。



澄みきった歌声が魅力的な澤田理絵さん

＊澤田 理絵（さわだ りえ）ソプラノ

福岡県出身。筑波大学附属盲学校高等部音楽科を経て、武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。ベートーヴェン作曲第9交響曲や宗教曲のソリスト、オペラガラコンサートやジョイントリサイタルの開催、新作初演など精力的に独自の活動を展開している。コロラトゥーラの作品をレパートリーとし、オペラでは「ランメルモールのルチア」、「リゴレット（ジルダ）」、「ラメク（ラメク）」、「魔笛（闇の女王）」などを得意としている。一方、カルチャースクール・合唱団・音楽大学受験生や声楽愛好家など多方面に於いて後進の指導に当たっている。2000年「女性自身」、2001年日本テレビ「親と子の肖像」、2002年文芸春秋、2003年日本テレビ系列「スーパーテレビ情報最前線」など、マスコミに頻繁に取り上げられている。2005年「サフラン賞（職業自立し、社会貢献を行う女性に贈られる）」を受賞。2006年夏ローマにて研鑽、その間ヨーロッパ各地で多数のコンサートに出演。現在、都立泉高校非常勤講師。クラブツーリズム主催「旅の文化カレッジ」講師。三池三郎、小野山幸夏、坂口直子、佐藤美枝子、V・フェッランテ、V・バーバリーの各氏に師事。



若さ溢れ伸びやかな演奏の横山隆臣さん

＊横山 隆臣（よこやま たかおみ）ピアノ

1989年生まれ。小学校は埼玉で学び、中学校高等学校は筑波大学附属視覚特別支援学校へ進んだ。高等部終了後、高い音楽技術を習得するために2年間高等部専攻科音楽科を選択。在学中に於いてヘレンケラー音楽コンクールに2回出場し、優秀な成績を残した。現在、尚美学園大学4年生在学中。サークルに参加し、積極的な活動を行っている。クラシックはもとより、ポップスも手がけ、作曲の研鑽を積んでいる。



息が揃ったムジークフェライン室内楽団

＊ムジークフェライン室内楽団

2009年、早稲田大学フィルハーモニー管弦楽団、慶應義塾ワグネル・ソサエティー・オーケストラ両楽団の元コンサートマスター、首席奏者を中心に結成。楽団名の「Musik Verein」は楽友協会の意で、学び舎は違えど4年間の大学生活を共にしてきた「学友」が、「楽友」となって一つの音楽を創り上げたいという願いが込められている。それぞれの目標に向かって新たな一歩を踏み出した楽友たちが、一つの音楽のもとに集まりエネルギーで情熱的な演奏を目指して活動を行っている。

ぜんまい仕掛けの人形がだんだんとネジがきれてゆくところなどは十分楽しめました。川島成道さんのヴァイオリンは毎年楽しみにしています。今回もたくさんの演奏を聞かせていただきましたが、特に「アヴェ・マリア」の甘い音色には涙がこぼれました。私は川島さんのCDを持っていますがステージのすぐ近くで演奏されるヴァイオリンには酔いしれます。このような素晴らしいコンサートの機会をプレゼントしてくださったテレビ朝日様に心より感謝申し上げます。

♥この度はTULEVAN CONCERTOにご招待いただきまして、どうもありがとうございました。川島成道さんのヴァイオリンコンサート聴くのは、二度目ですが、聴けば聴くほど素晴らしい、心の琴線に触れる柔らかな音色ですね。澤田理絵さんの歌

や横山隆臣さんのピアノなども聴くことができて盛りだくさんの素晴らしいコンサートでした。お陰様で、夏の疲れもとれたような、心の洗濯ができたような素敵な、贅沢な音楽の秋を味わうことができました。

♥今回は、ご招待いただきまして、どうもありがとうございました。初めて鑑賞させていただきました。出場者、各々素晴らしい演奏でした。同じ視覚障害者として、誇らしく思いました。特に、川島さんのヴァイオリンは、ピアノとも一体となり、何もかも忘れ、聞きほれてしまいました。また、来年も出ていただきたいものです。…後略…

★児童養護施設で生活する高校生の海外生活体験の旅

共催

今年で13回目となる「高校生海外生活体験の旅」を7月25日～8月2日まで実施しました。海と緑に囲まれたその美しさから「エメラルドシティ」の愛称を持ち、アメリカの中でも暮らしてみたい憧れの都市・シアトルに、高校生男女10名が訪れました。この企画は、児童養護施設で生活する高校生を対象に海外でのホームステイ体験、ボーイング社工場見学、ボランティア参加などを通して視野を広げ、将来、この経験を活かして、社会人としての第一歩を踏み出せるよう支援することを目的としています。今年も大勢の応募者の中から書類選考、作文審査、面接審査などを実施し、10人の高校生が選抜され、7泊9日のプログラムに参加しました。

シアトル在住のホストファミリー宅にホームステイしながら、アメリカ人の先生による英語レッスン、その他にマイクロソフト社、シアトルに本拠地をおくマリナーズの試合をセーフコフィールド球場で観戦、また、山頂に氷河を頂くマウントレーニエ国立公園でのトレッキング、スーパーマーケットでの買い物体験、アメリカ西海岸で広大な敷地のワシントン大学訪問、フードバンクでのボランティアなどに参加しました。平日は午前中に英語のレッスン、午後からはそれぞれのイベントスケジュールを元気に体験、夜はホストファミリー宅で寝食を共にし、土曜・日曜は終日ホストファミリーと一緒に過ごすというプログラムでした。

参加した皆さんは飛行機が初体験、成田空港から約9時間のフライトでシアトルのタコマ国際空港に到着、入国審査では英語に戸惑い、シアトル滞在が始まりました。到着した日は長旅の疲れも忘れ、市内観光を楽しみながら、すべてにビッグなのに圧倒され、夕方からそれぞれのホストファミリーとご対面……！ その夜は時差ボケの中、ホストファミリー宅での宿泊。高校生たちはうまくコミュニケーションできるかどうか最も不安な夜だったことでしょう。参加の皆さん、それぞれ片言英語、ボディランゲージ、辞書、電子翻訳機などを駆使してホストファミリーとの意思疎通に奮闘したようです。土曜・日曜は終日ホストファミリーと一緒に過ごし、買い物と一緒に連れて行ってもらったり、バーベキュー、映画鑑賞などで英語にも少しずつ慣れ、コミュニケーションも少しずつ取れるようになり、お互いにメンタル面の距離感が縮まったようです。シアトル7日目、日本に帰る前日の夜は、サヨナラパーティーを開催し、英語で日本の文化を紹介することにもチャレンジしました。シアトルに行く前の日本での研修では、大変不安そうだった皆さんが、日本に

参加高校生の感想文の一部 抜粋

◆ Gさん 18歳

シアトルに決まった時は嬉しかった。人生で初めての経験なので緊張もありました。英語が苦手な私にとって言葉でのコミュニケーションは大きな課題であり、意思表示には必要不可欠だと思ったから不安でした。シアトルで起きた小さな出来事もすべて私の大切な宝物となりました。必ずしも言葉でなくても、お互いに理解しようとする気持ちが大切だということに気がつきました。

◆ A君 16歳

1日目。緊張してあまりしゃべれなかった。この先とても不安になった。2日目。野球観戦。観客の乗りがよく、テンションが高くておしゃれ。日本の堅苦しい空気のスタンドとは違い、アメリカのほうが百倍良い。この夜、家の子供たちと会話できた。3日目。家族とキャンプに行った。湖の景色は一生忘れない。風や岩に打ち付ける波の音、夕焼け、どれも実際にいったから得られた極上の体験だった。4日目。家族と中華を食べに行った。こどもみたいにはしゃいだ。この旅を合格まで持ってくれた施設の職員、企画に携わった方々、このような素晴らしい体験をさせてくれてありがとう！この体験は今後の生活や仕事に必ず活かしたい！！

◆ Tさん 16歳

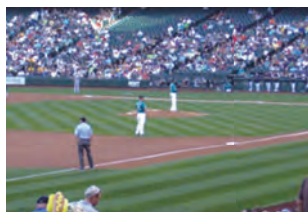
このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。この研修を通じて変わったことがあります。ひとつは英語が好きになりました。絶対英語を習得したいと心に誓いました。ふたつは休日の時間の使い方を改めたことです。アメリカでは日曜の午前中は礼拝をしているのを見て、自分は時間を無駄に使っていることに気づきました。あと人見知りがなくなった気がします。この研修を通して大きく変化した気がします。良い方向に。

◆ Sさん 16歳

この体験を通して学んだことは、とても一言では言い尽くせません。はじめは全く乗り気ではありませんでした。どうにか休みたいと思いました。でもきつとこんなチャンスは二度とない、今しか行けないと気持ちを奮立たせました。このたびに参加してよかったことが二つあります。一つは、英語で話すことに積極的になれたことです。どんなに下手でも単語とジェスチャーで何とか会話をしようとする、ファミリーは優しく聞き取って話をつなげてくれました。本当に会話できたときは嬉しかった。もう一つは、他の施設の子と仲良くなれたことです。みんなに少しずつ話しかけ、たくさんのかを話しました。この旅を通して学んだことを、これからの生活、将来へ生かしていこうと思います。この企画の一員に選んでくれてありがとうございました

いる時に較べて元気に、お互いのホストファミリーとも仲良く話していたのが印象的でした。パーティーの最後に、ホストファミリーの皆さんの前で、「栄光の架橋」をみんなで大合唱して、シアトル最後の夜を楽しみました。シアトルから日本に帰る日は、ホストファミリーの皆さんが大勢見送りにきてくださり、これまでずっと陽気にはしゃいでいた参加者たちも別れの時には何人もが目に涙を浮かべていました。また、今回参加の皆さんはふだん暮らしている児童養護施設もそれぞれ違って、シアトルに行く前はそれほど親しかったわけありませんでしたが、シアトルから成田空港に着いた時には、全員が離れがたくなっていて、空港のロビーをいつまでも去ろうとしませんでした。今回のシアトルへの旅の7泊9日間は、楽しいことばかりではなかったかも知れませんが、「高校生海外生活体験の旅」に応募し、書類・作文審査、面接審査にチャレンジした10人の皆さんは、日本とアメリカの文化の違いなど多くのことを肌で感じ、体験したことと思います。今回の旅が高校生の皆さんのこれからの人生に、少しでも役にたっていただければと願っております。

日程：5月7日(火) 応募締め切り(作文ほか)
5月19日(日) 面接選考 参加者決定
6月16日(日) 結団式
7月25日(木)～8月2日(金) (シアトル・7泊9日)
9月29日(日) フォローアップ研修
参加者：高校生10人 (男子5人、女子5人)
(東京・神奈川・埼玉の10児童養護施設)
主催：テレビ朝日福祉文化事業団、(福)東京都社会福祉協議会児童部会
後援：(公財)原田積善会



海外体験の旅 2013 日程表

7/25 (木)	成田発→シアトル (UA 876 便) シアトル空港着 (同日 午前着) シアトル観光	【ホームステイ①】
7/26 (金)	英語レッスン/ボーイング工場見学ツアー/ マリナース対ミネソタ・ツインズ戦を観戦	【ホームステイ②】
7/27 (土)	ホストファミリーと一緒に	【ホームステイ③】
7/28 (日)	ホストファミリーと一緒に	【ホームステイ④】
7/29 (月)	マウントレーニアへの遠足・トレッキング	【ホームステイ⑤】
7/30 (火)	バイクブレイスマーケットフードバンクでボランティア /消防署見学/英語レッスン	【ホームステイ⑥】
7/31 (水)	英語レッスン/ワシントン大学、マイクロソフト社見学 /さよならパーティー開催 英語であいさつ	【ホームステイ⑦】
8/1 (木)	アカデミックセンターからシアトル空港へ向け出発 シアトル空港到着	【機内】
8/2 (金)	成田空港到着・解散	

ました。私は絶対にこの体験を忘れません。本当に本当に楽しかったです。

◆Y君 16歳

今回は、シアトルの旅でお世話になりました。1週間という短く、限られた時間で、楽しく充実したものとなりました。行く前までは不安と期待でいっぱいでしたが、ホストファミリーと一緒に行く仲間のおかげで楽しく過ごせました。一つ一つ思い出となり、私の財産になりました。そして、この財産で私の目指す場所への視野が広がり、実現できる日が来るまで、あきらめずに頑張ろうと思います。

◆T君 17歳

とても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。この体験で大切にすることが二つあります。それは「自分から動くこと」と「自分の想いをしっかり伝えること」自分から動くことは、この体験に参加しようと思わなければ、ここから得るものはなかったと思うし、自分で決断し、行動したから、いい経験になったと思う。自分の想いを伝えることは、ホームステイの時に大切だと思いました。会話をしている時に、いちいち辞書で調べていたら、時間がどんどん過ぎてしまいます。ジェスチャーを使ってコミュニケーションをとれば、よく伝わったんじゃないかと思っています。7日間は短かったけれど、すごい思い出が詰まっています。この経験から自分が本当に世界一周し

たいんだという気持ちがあったのも大きな一歩です。本当に楽しかったです。ありがとうございました！

◆T君 16歳

私は今回の体験に3つの目標を持って臨んでいました。アメリカの文化や習慣を見つける。英語でのコミュニケーションをできるようにする。高校卒業後の進路の参考になるものをみつける。3つの目標は完全に達成はできませんでしたが、近づくことはできました。一つ目、アメリカでは家の中では皆、はだして楽しそうでした。私が驚いたアメリカの習慣は野球観戦の時に買った落花生を、食べる時にからを足元に捨てていくことでした。これは日本を見習ってほしいと思いました。そのほか、映画を見に行った時。道で人とぶつかっても日本人は頭を下げるだけだが、アメリカ人は言葉で必ず謝ってくれます。日本人は外に出ると黙ったままだが、アメリカ人の気楽な人柄が気持ちよかったです。英語のコミュニケーションでは、最初は耳を澄まして集中させて聞くことに疲れましたが、ゆっくり話してもらい、理解すると、この単語はこういう発音なんだと再認識しました。劇的に上達したわけではないが、自信がつき、話せるようになったと実感できました。大きな収穫だったと思います。またシアトルに行けることを楽しみにしています。

■ 児童養護施設児童対象のワークショップ

◎主催

児童養護施設で生活する中学生・高校生を対象に、今年で第7回となる演劇ワークショップ「The ADVANCE」を開催しました。演劇を通して、自分自身を表現する力や創造力、他人を理解する力を身につけて、自信を持ってもらうことが目的です。今回のワークショップでは、①情緒の安定を促進すること、②身体調整力を養うこと、③社会性と協調性を養うこと、④自信と想像力を育むこと、⑤前向きに生きる力を育むこと --- この5つのテーマを掲げました。9月21日から11月17日の発表までに14日間のワークショップを行い、6名の参加者は、互いに信じあい、励ましあい、支えあいながら、真剣に取り組み、自分たちの動きをいかに大きく表現するか、言葉をどうしたらはっきり伝えられるかなど、講師陣と熱心にやり取りしました。

舞台上で発表した作品「宇宙探検」は、星新一氏の「古代の秘宝」「歓迎攻め」を基に創作し、内之浦宇宙観測所からイプシロンロケットが打ち上げられてから数百年後の未来の話です。

子どもたちは作品の骨子から、アドリブで動きや、台詞を生み出し、感じあい、伝えあうことで、創作活動を開始しました。当初、「自分ではできない」と前向きではなかった児童が、頭を捻りながら「考え」、身体を動かしながら「表現」することの楽しさを体験し、「自分にもできる」ことを発見して積極的に取り組むようになった姿は、感動的でした。

発表の舞台は、「第2回子どもキラット!楽演祭」(主催:テレビ朝日福祉文化事業団)。約600名の観客を前に、全員、表情豊かに自分を発信。一生懸命に取り組み、持てる力をいかに発揮してくれました。観客からも大きな拍手が送られ、楽しいステージとなりました。

2014年1月26日、フォローアップ研修として、ワークショップの振り返りと記録DVD鑑賞会などを行い、今年度のワークショップは終了しました。児童の成長を目の当たりにできたことは、私たちスタッフにとっても大きな喜びです。

なお、今回は書類選考で、東京・千葉・埼玉の3施設より、中学2年生から高校2年生までの6名の児童が参加。講師は、総合監修に太宰久夫氏、演技・表現指導に小森創介氏、叶雄大氏、下川涼子氏、舞踊指導に神崎由布子氏、楠原竜也氏。参加児童のメンタルサポートとケアは、大原岳夫氏(児童養護施設カルテット)、柏倉千郷氏(児童養護施設カルテット)、服部環氏(児童養護施設クリスマス・ヴィレッジ)、星野将宏氏(埼玉県児童相談所職員)にお願いしました。

子どもたちの能力を引き出す手助けをしてくれた講師陣や、関係者の皆さまに感謝いたします。



★スケジュール

通い

場 所：テレビ朝日(港区六本木)

日 時：① 9月21日(土) 14:00～17:00
② 9月28日(土) 14:00～17:00
③ 10月 5日(土) 14:00～17:00
④ 10月 6日(日) 14:00～17:00
⑤ 10月20日(日) 11:00～17:00
⑥ 10月26日(土) 11:00～17:00
⑦ 10月27日(日) 11:00～17:00
⑧ 11月 2日(土) 11:00～17:00
⑨ 11月 9日(土) 11:00～17:00
⑩ 11月10日(日) 11:00～17:00
⑪ 11月16日(土) 11:00～17:00

合宿

場 所：こどもの国 研修センター(横浜市青葉区)

期 日：⑫ 10月12日(土) 1泊2日
⑬ 10月13日(日)

発表

場 所：「第2回子どもキラット! 楽演祭」ニッショーホール(港区虎ノ門)

日 時：⑭ 11月17日(日) 13:30～

フォローアップ研修

場 所：テレビ朝日(港区六本木)

日 時：2014年1月26日(日) 11:00～

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団

後 援：(福)東京都社会福祉協議会児童部会、(福)神奈川県社会福祉協議会、
(福)埼玉県社会福祉協議会、(福)千葉県社会福祉協議会、(福)群馬県社会福祉協議会、
(福)栃木県社会福祉協議会、(福)茨城県社会福祉協議会



児童養護施設で暮らす子どもたちの明るく健全な個性を育むことを目的として、「笑顔と元気を応援!」をテーマに、11月17日、東京・虎ノ門のニッショーホールで「第2回 子どもキラット! 楽演祭」を開催しました。東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県から13施設が参加。幼児から高校生、職員、そしてテレビ朝日福祉文化事業団が行っている「演劇ワークショップ」のメンバーを含む261人が出演。合唱、バンド演奏、創作舞踊、ヒップホップダンス、文化箏、キッズゴスペル、ハンドベル、トーンチャイム、演劇作品の発表などを熱演しました。また「高校生の海外生活体験の旅」に参加した女子高校生が司会にチャレンジしました。

このイベントは、「子どもたちの発表の場を設けてほしい」という児童養護施設からの要望で実現しました。昨年の「第1回 子どもキラット! 楽演祭」は150人が出演し、好評を博しました。今年は昨年を大幅に上回る参加人数となり、演目数も増え、時間調整に苦慮するという主催者としては嬉しい一面もありました。スペシャル応援ゲストは、皆様のリクエストもあり、若手人気マジシャンのマギー審司さんに依頼。忙しいスケジュールを調整しての出演でしたが、おなじみの楽しいマジックを披露。会場の子どもの声を上手に受けて、「キャッチボール」する「話芸」は子どもだけでなく大人も楽しめ、会場は大いに盛り上がりました。

日 時：平成25年11月17日(日)
場 所：ニッショーホール(港区虎ノ門)
主 催：テレビ朝日福祉文化事業団
共 催：(福)東京都社会福祉協議会児童部会
後 援：(公財)原田積善会

参加施設へのアンケートから抜粋

- ★大変たのしく参加できました。練習の成果を發揮でき、有意義な時間でした。来年もよろしくお願いします。
- ★練習以上に、いい発表ができ、みんな大満足でした。立派な舞台・音響・照明、スタッフの皆様の笑顔のおもてなしのお陰です。
- ★大変貴重な機会を与えて下さり、心より感謝申し上げます。子どもたちは本番で、緊張・不安に打ち勝ち、練習の成果を發揮。自信と達成感を得ることが出来たようです。
- ★出演施設数も増え、子どもも職員もやり甲斐がありました。大きな舞台で、プロの音響・照明さんにステージを作って頂けるので、とても真剣に取り組むことができました。
- ★去年に引き続き「キラット! 楽演祭」を開催していただき感謝しています。子どもたちも大きな舞台に期待を膨らませ、良い経験することが出来ました。
- ★どの施設もバラエティに富んだ舞台を構成しており、児童・職員共に勉強になりました。
- ★子ども達の中で「発表の場」として定着しており、普段の練習のモチベーションにつながっています。他施設の発表を見て、刺激を受けたり、新しいものに興味が広がったりと、いい意味で影響を受けました。
- ★出演後の子どもたちは充実した表情をしており、自信につながったと思います。
- ★マギー審司さんの話し方、芸の見せ方は子どもたちだけでなく、大人も素直に楽しめました。帰りの電車の中でも、マギーさんの話題で持ちきりでした。
- ★めったに見ることの出来ない、テレビで活躍している方のショーに、子どもも職員も楽しませて頂きました。ゲストがいると、とても盛り上がり、雰囲気の良い「楽演祭」になることを実感しました。
- ★マギー審司さんは、さすがプロといった舞台で、ゲストに呼んで頂き感謝しています。子どもたちが、あんなに積極的に客席から声を出すことが出来たのは良い経験になりました。



当事業団では、児童養護施設で生活する小学校高学年と中学生を対象に積極性、社会性、協調性などを養い、視野を広げる一助とする企画として「農村ホームステイ体験の旅」を今年度初めて実施しました。

普段都会で生活する子供たちが、農業を営む家庭に寝泊まりし、野菜作り、牛の飼育など農業を実際に体験する企画です。児童養護施設で集団生活を送る子どもたちを10軒の農家に1人ずつ預かっていただくことにしました。ホームステイの場所は、日本各地のいくつかの候補地の中から農業の盛んな岩手県遠野に決定。農業に興味があり、いろいろな事を体験してみたいという積極的に応募してきた児童の中から、10人を書類と作文審査で選考しました。7月22日に事前説明会を行い、8月22日～8月26日、4泊5日の「農村ホームステイ体験の旅」を実施しました。

遠野は、岩手県の沿岸と内陸のほぼ中間に位置し、早池峰山、六角牛山、石上山などの山々に囲まれた盆地にあり、のどかな田園そのものの土地です。遠野の大部分は森林が占め、水田や畑などの耕地は10%にも満たないところですが、稲作を中心に肉用牛・乳用牛などの畜産、ホップ、たばこなどの工芸作物、野菜栽培などが行われています。

また、遠野は柳田国男の「遠野物語」でも有名で、「遠野物語」には河童、山姥、座敷童などの伝説が多く収められています。2011年3月11日に起きた東日本大震災当時、遠野は被害の大きかった沿岸被災地への後方支援活動の拠点にもなりました。

8月22日、小学校5・6年生6人、中学生4人と引率者3人の計13人のメンバーは、8月22日東京駅から東北新幹線に乗り新花巻に向かいました。中には新幹線に乗るのが初めての児童もいて、期待に満ちたやや興奮気味な旅立ちとなりました。新花巻駅からチャーターしたバスに乗りこみ遠野に向かいました。バスに同乗した地元のガイドさんに、曲り家やカッパ伝説のカッパ淵などを案内していただきました。バスの中で遠野の昔ばなしを聞きましたが、年配のガイドさんの話す岩手弁のためか、参加した児童には良く言葉の意味が伝わらなかったようでした。



遠野めぐりの後、参加児童10人とお世話になるホストファミリー10軒の方たちとの対面式を行いました。子どもたちは、どんな家庭に……？子どもを預かる農家(ホストファミリー)の方々は、どんな子が……？お互いに期待と不安の入り混じる瞬間です。遠野めぐりのバスの中では、元気におしゃべりしていた子どもたちも、ちょっぴり緊張している様子でした。お互いに初対面の挨拶を交わして、子どもたち10人は10軒のホストファミリーの家に向かいました。

遠野に着いて2日目と3日目、子どもたちは、農家で農業や家事のお手伝いです。ある児童は朝早く起こされて広い畑でトウモロコシをたくさん収穫し、販売所に運び込む作業。またある子は暑い炎天下、畑で豆や玉ねぎの種まき。キャベツの収穫、レタス畑の草取り。ハウスで栽培されているシタケの収穫。またある児童は朝4時に起きて乳牛のエサやりと乳搾り、牛舎のフン掃除。肉牛のエサやり。乗馬用の馬のエサやりと馬小屋の掃除。リンゴの収穫や料理など……。また、運よく地元の祭りに神輿の担ぎ手として参加する児童もいました。

私たち引率者3人と地元スタッフは、日頃、慣れない農作業で大丈夫だろうか、バテないだろうかと少し心配しながら10軒の農家を2日間巡回して様子を見に行きました。行ってみると「案ずるより産むが易し」

といいますが、みんな明るい笑顔で、すっかり遠野に馴染んで汗をかきながらも農作業を手伝ったり、畑を駆け回ったりしていました。

遠野での4日目は、東日本大震災の被災地大槌町を訪ねました。被災から約2年半経過しましたが、大槌町の旧市街地は、瓦礫はかなり撤去されているものの、雑草だけが生い茂り荒れ果てたままでした。被災当時、亡くなられた方々の遺体安置所になっていた中学校の体育館の側で現地の方から当時のお話を伺い、被災の悲惨さを改めて思い知らされました。震災で亡くなられた人たちの霊を慰めるため、菜の花畑が河川敷に作られていました。今回、ボランティアで菜の花畑の大きな石拾いを行いました。その後、仮設住宅の近くの公民館で、地元に伝わるお団子作りを地元のお婆ちゃんに教えていただき、一緒にお団子を作りました。

大槌町から遠野に戻り、その夜はお世話になった10軒の農家の方々とサヨナラパーティーを行いました。全員でクイズ合戦をやったりして楽しい時間を過ごしましたが、参加児童、ホストファミリーに驚いたこと、困ったことなどインタビュー行いました。すると「よく頑張って働いてくれて、売上にも貢献してくれて嬉しいけど、朝起こしても、なかなか起きてくれなくて……」「なんでも喜んで食べてくれ、育てやすい子だなあと思った」などの感想がありました。パーティーの最後に、参加児童が一人ずつ、お世話になったホストファミリーに、「感謝の手紙」を読んで渡しました。ホストファミリーの皆さんは、このサプライズにとっても感激し、中には涙を流す方もいました。そんな温かく、楽しい雰囲気、遠野最後の夜はふけてゆきました。

8月26日、4泊5日の「農村ホームステイ体験の旅」も、いよいよ最終日。東京に帰る児童たちをホストファミリーの皆さんが遠野駅に送りに来てくれました。幸い天候にも恵まれ、長いようでとても短かった5日間でした。参加した児童10人にとっては楽しいことばかりではなかったと思います。普段の施設での生活と違い戸惑ったこと、困ったこと、なれない農作業でとても疲れたり、我慢したことも多かったことと思います。

この「農村ホームステイ体験の旅」での経験が、いつかどこかで役だってほしいと願っています。

また、お世話になった遠野の農家の方々にとっても、初めての子どもと接する5日間は、楽しいだけでなく、いろいろと気遣いされたと思います。最後まで、子どもたちを温かく迎え入れ、たくさんの貴重な経験をさせてくださったことに改めてお礼申し上げます。



遠野の農家の紹介などいろいろとご協力いただいた「遠野山・里・暮らしネットワーク」の皆さまにもお礼申し上げます。

日 時：平成25年8月22日(木)～26日(月)

場 所：岩手県遠野市

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団

共 催：(福)東京都社会福祉協議会児童部会

後 援：(公財)原田積善会

参加児童の感想文抜粋

- ★私は今回参加していろんなことを体験できて良かった。黒毛和牛にエサをやったり、散歩させたりして食用牛を育て、生き物の大切さを知った。被災地を訪れて、これから何か被災地のためになることをしたいと思った。
- ★ホームステイ先で、堆肥の運搬、草取りなどをした。僕は施設でスイカを育てていますが、スイカは肥料を多くし、実の下にワラを敷くと良いことを教わった。いろんな体験もでき、友達もできて良かった。
- ★将来の夢は農業に携わることです。トマトやかぼちゃの収穫作業を手伝いましたが、すぐに疲れてバテました。しいたけのハウス栽培では、温度管理が重要なことを知り、これからももっと勉強したいと思った。ホストファミリーの方は、緊張しないように優しく接してくれ嬉しかったです。
- ★乳牛のエサやり、牛舎のフンの掃除は、だんだん慣れましたが、朝早くからで思っていたよりも重労働でした。とても疲れましたが、作業の後の冷たいコーラは最高でした。被災地・大槌町では、ボランティアで花壇作りのための石拾いをしてほんの少し役にたてました。
- ★私は、プチトマト、人参、かぼちゃ、大根の収穫を生れて初めてしました。野菜の種類、どんなふうに育てられているかを初めて知りました。畑の草とりも初めて経験しました。また、ホストファミリー先では、料理をやらせていただき、楽しく勉強になりました。遠野の経験を施設でも生かしたいと思っています。

- ★岩手弁の難しさを感じた。自然の豊かさ、皆さんの優しさに感心しました。トウモロコシを直売所に行って行き、売上金額を聞いた時は嬉しく、もっと頑張ろうと思いました。また、地元の祭りにも参加でき楽しかったです。サヨナラパーティーでは、感謝の手紙を読んだらホストファミリーが泣いたことが心に残っています。また遠野には是非行きたいです、この企画を実施してくれたテレビ朝日福祉文化事業団の皆さん、有難うございました。
- ★リンゴ、ブルーベリーなどのくだもの、野菜作りで、半分は野生動物に食べられるという話を聞きビックリしました。またホストファミリーの家が大きいのにも驚きました。大槌では中学校がたくさんの遺体安置所になっていたことを知り、改めて津波、地震の凄さを知りました。また、遠野に行きたいです。



ホストファミリー 10 軒の感想を一部抜粋

- ★子どもを預かる前は少し不安だったが、一緒に生活してみても我が子、我が孫のように触れ合えた。
- ★我が家にピッタリの明るい子がきて、農作業を嫌がらずにやってくれて助かりました。
- ★何でも言われたことを積極的にやる子でした。
- ★サヨナラパーティーは、他のホストファミリーの様子もわかって良かった。子どもたちからの感謝の手紙はとてもサプライズで嬉しく感激しました。
- ★サヨナラパーティーのクイズ合戦は、みんなで楽しめて良かったです。
- ★食事も嫌いなものがなく、何でも食べてくれて嬉しかったです。口数はやや少ない子でしたが、いつも笑顔でこたえてくれました。すぐに行動し、何事にも熱心に取り組む姿は良かったです。
- ★とても良い子で、一緒にいてとても楽しかったです。「一緒に〇〇したい」と甘える姿がかわいらしく、もっと多くのことを経験させてあげたかったです。

- ★農業に興味を持ち、畑や牛の世話のお手伝いを積極的にやってくれました。なんでも話し、笑ってくれて、言われたことを素早くこなし感心しました。
- ★一生懸命、私たち家族にとけ込もうとしていることがわかった。



7月24日(水)・25日(木)、三鷹市大沢総合グラウンドで「江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会 2013 野球の部」が開催されました。今年は10チーム(去年は12チーム)約130名の児童が参加し、二日間の熱戦が繰り広げられました。審判団は三鷹市軟式野球連盟の皆さんに全面協力して頂きました。

一日目は、連日の猛暑が嘘のような凌ぎ易い曇り空の下、元プロ野球投手でテレビ朝日「報道ステーション」の野球解説者としてご活躍の工藤公康さんをお迎えして始球式を行いました。工藤さんには10チーム各々の児童と記念撮影や色紙・副賞品などにサインを快くお引き受け頂き、終始和やかな雰囲気の中で児童やスタッフに大変喜ばれました。

今年はブロック毎に分かれて対戦する方式で、一回戦は二面を使って10時にプレーボールしました。午後は小雨まじりとなりましたが、選手たちは気にする様子もなく、予定通り6試合が行われました。

二日目は時々小雨が降る中、10時から四面を使って各ブロック二回戦の続きが行われました。そしていよいよ14時から、上位4チームによる決勝トーナメントが始まりました。結果、全試合をコールドゲームで勝ち進んだ清瀬市の「ベトレヘム学園」が、「目黒若葉寮」の4連覇を阻んで優勝しました。また、3位決定戦では、「生長の家神の国寮」が「調布学園」に逆転勝ちしました。なお、敗者による交流戦も2試合行われました。

閉会式では、テレビ朝日福祉文化事業団から優勝～4位までの各チームにトロフィーの他、副賞としてグローブセット、参加者全員にスポーツタオルを贈呈しました。こうして、今年は熱中症の心配もなく、無事に幕を閉じることができました。

日 時：平成25年7月24日(水)、25日(木) 場 所：三鷹市大沢総合グラウンド
参加者：児童養護施設の小中学生 約130人
主 催：(福)東京都社会福祉協議会児童部会 共 催：テレビ朝日福祉文化事業団
後 援：東京都、(公財)毎日新聞東京社会事業団、(公財)報知社会福祉事業団



■児童福祉施設職員のためのワークショップ

「子どもの話を聞く」「子どもの気持ちを受け止める」「子どもに気持ちを伝える」…

子どもとのよりよいコミュニケーションを学ぶため、1泊2日の児童福祉施設職員のためのワークショップが開催されました。

現在、児童福祉施設では被虐待児童など、行動上の問題を抱えた児童が増加しています。これらの背景には家族の問題や、地域社会の影響によるところが多く、児童福祉分野に従事するスタッフには、その理解と、より高度で専門的なトレーニングが求められています。今年も、1980年代から児童虐待、ネグレストの問題に取り組む、また日米の子どもと家族の治療に関してこられた Dr. 田中万里子先生(サンフランシスコ州立大学名誉教授)をお迎えして開催しました。

実践的に理解を深めるため、事前に施設職員から課題を提出してもらい、その課題についての的確な回答を得ながら、応対の仕方、相手をよく理解するためのNLPによるコミュニケーションチャンネルの識別などを学びました。

日 時：平成25年10月29日(火)、30日(水) 場 所：ザ・クレストホテル立川(立川市)
主 催：(福)至誠学舎立川 児童養護施設至誠学園 共 催：テレビ朝日福祉文化事業団

●第55回慈彩会展

🌸🌿 後援・助成

慈彩会は、日頃から絵画・書道・工芸等に親しんでいる各界の有志が集い、1958年(昭和33年)5月に発足しました。以来、“社会福祉施設に絵を贈る運動”として作品を無償で寄贈し、毎年一回<日本橋三越本店>に於いて「慈彩会展」を開催して今年で55回目を迎えています。展示作品は、社会福祉施設に贈呈される他、会場で販売したその浄財が福祉活動への助成金として役立てられます。

毎回、常陸宮妃殿下から御出品並びに御台覧を頂くと共に、趣旨に御賛同下さった多くの芸術家の方々からも出品していただいています。今回は総計140点余りの作品が出展されました。

昨年は50の施設に104作品を贈呈しました。これまでに全国の福祉施設に贈呈した作品は、累計5,041点で、延べ3,510施設です。そして、助成金は総額81,707千円となりました。

テレビ朝日福祉文化事業団は、今後も後援を通して社会福祉のお役に立てるよう取り組んで参ります。



会 期：平成25年7月17日(水)～22日(月)

場 所：日本橋三越本店(中央区)

主 催：慈彩会

後 援：厚生労働省、東京都、(社)日本民生文化協会、(公財)原田積善会、テレビ朝日福祉文化事業団

●第59回関東甲信越静里親研究協議会 横浜大会

🌸🌿 後援・助成

日 時：平成25年7月6日(土)

場 所：横浜市社会福祉センター(横浜市)

主 催：(公財)全国里親会、関東甲信越静里親研究協議会、(社)横浜市愛児会

後 援：(福)埼玉県社会福祉協議会、テレビ朝日福祉文化事業団 他

●こどもの国のお正月行事「ジャンボカルタ取り大会」「どんど焼き」

🌸🌿 後援・助成

毎年恒例となったこどもの国でのお正月行事、「ジャンボカルタ取り大会」と「どんど焼き」が開催されました。

年明けの1月2日・3日の穏やかな日の中、1メートル四方のジャンボカルタを、子どもたちは元気よく取り合っていました。また、1月12日、中央広場に大きなやぐらを組んだどんど焼きでは、松飾や書初め、だるまなどを持ち寄り、晴天の暖かな陽気の中、年女・年男たちによる点火から始まり、またたく間に空高く舞い上がる炎に参加した人々は手をかざして、今年一年の健康を祈りました。このどんど焼きには、当事業団から焼き芋を提供しており、子どもたち300人に手渡されました。

【ジャンボカルタ取り】

日 時：平成26年1月2日(木)、3日(金)

場 所：こどもの国(横浜市)

主 催：こどもの国協会

【どんど焼き】

日 時：平成26年1月12日(日)

場 所：こどもの国(横浜市)

主 催：こどもの国協会



その他の事業（後援名義）

●自立援助ホーム「憩いの家」バザー

  後援名義

日 時：平成 25 年 12 月 20 日(金) ～ 25 日(水)
場 所：日本橋高島屋(中央区)
主 催：(福)青少年と共に歩む会

●日本児童養護実践学会 第 6 回研究大会

  後援名義

日 時：平成 26 年 2 月 15 日(土)
場 所：目白大学 新宿キャンパス(新宿区)
主 催：日本児童養護実践学会

●第 7 回「家族週間」子育て童謡コンサート

  後援名義

日 時：平成 25 年 11 月 20 日(水)
場 所：ルネこだいら(小平市)
主 催：NPO 日本と世界の愛唱歌をうたう会

●IFCO2013 大阪世界大会

  後援名義

「IFCO2013（国際フォスターケア機構）大阪世界大会」が 9 月 13 日(金) ～ 16 日(月)、アジアで初めて開催されました。この大会は、「里子児童の利益と権利の養護」について話し合わせ、社会的養護の質を高めるといふ世界共通の課題について、日本が国際社会の一員として世界と向き合い、共に学びあう初めての機会となりました。

日 時：平成 25 年 9 月 13 日(金) ～ 16 日(月)
場 所：大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)
主 催：IFCO 大阪世界大会実行委員会、(公財)全国里親会
後 援：厚生労働省、大阪府、大阪市、堺市、全国社会福祉協議会、大阪府社会福祉協議会 他

■ 高齢者施設訪問

◎主催

特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの高齢者施設をプロの歌手が訪問し、高齢者の皆さんに楽しい時間を過ごしていただくというのがこの高齢者施設訪問です。

昭和 62 年に施設訪問が始まってから、合計 161 回を数えました。今年度は 11 の施設を訪問し、どの施設の皆さんも一緒に手拍子をしながら共に口ずさんだり、身体全体で喜びを表わしてくれます。民謡から歌謡曲まで、若かりし頃を懐かしみながら、笑顔あり、涙ありの楽しい施設訪問を行いました。



大津美子さん



こまどり姉妹さん



原田直之さん



園まりさん



恵り香さん

①日 時：平成 25 年 4 月 12 日(金)
会 場：しらさぎホーム(中野区)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

⑤日 時：平成 25 年 8 月 7 日(水)
会 場：伊興園(足立区)
ゲスト：原田直之(民謡歌手)

⑨日 時：平成 26 年 1 月 24 日(金)
会 場：金井原苑(川崎市)
ゲスト：園まり(歌手)

②日 時：平成 25 年 5 月 22 日(水)
会 場：さくらの杜(北区)
ゲスト：大津美子(歌手)

⑥日 時：平成 25 年 9 月 6 日(金)
会 場：吉祥寺老人ホーム(武蔵野市)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

⑩日 時：平成 26 年 2 月 21 日(金)
会 場：ハピネスあだち(足立区)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

③日 時：平成 25 年 6 月 24 日(月)
会 場：小松原園(八王子市)
ゲスト：恵り香(歌手)

⑦日 時：平成 25 年 9 月 26 日(木)
会 場：飛鳥晴山苑(北区)
ゲスト：大津美子(歌手)

⑪日 時：平成 26 年 3 月 14 日(金)
会 場：泰山(江戸川区)
ゲスト：原田直之(民謡歌手)

④日 時：平成 25 年 7 月 17 日(水)
会 場：白寿荘(目黒区)
ゲスト：園まり(歌手)

⑧日 時：平成 25 年 10 月 28 日(月)
会 場：永福ふれあいの家(杉並区)
ゲスト：恵り香(歌手)

このカルチャー教室は、高齢者の皆さんに文化活動を通じて楽しみながら生きがいを見つけ、友達作りをしてもらおうと始めました。会場は六本木ヒルズのテレビ朝日にある多目的スペース「umu」で、毎月1回、趣味の講座を行っています。午後1時、教室のはじめは手話を学習する時間です。細かな日常会話を手話で表現することはとても具体的で興味深いものです。皆さん身体を動かし、口を動かし楽しいひと時になります。こうした時間は当事業団ならではのもので、障がい者の方への理解を深める一助になればと考え実施しています。

このカルチャー教室では、①特殊な加工によって生花のように咲き続けるプリザーブドフラワー、②粘土を捏ねて人形の形を作り、レースと布を貼り付けて飾って焼く、豪華な陶器のレースドール、③立体的な額装を作るデコラティブアレンジメント、④ペンや筆を使い写経など書くことを楽しむ書道、⑤アクセサリーに最適なアートクレイシルバー、⑥皿やグラスに絵付けをするチャイナペイント、⑦カルトン(厚紙)にお気に入りの布を貼って世界に一つのオリジナルBOXを作成するカルトナージュの7つの講座を開催しています。毎回40～50人が1つのスペースで学ぶという風変わった教室ですが、次は別の講座を受けてみようなどいろいろ楽しむこともできます。また、受講生同士も親しくなり、教室が終わったあとに、お茶を楽しんだり、旅行に出かけたりと交流が深まっているようです。月1回の教室ですが、皆さんお互いに刺激を受けながら創作活動に励んでいます。

日 時：平成25年度 年9回開催（毎月1回、8月と12月を除く）

講 座：レースドール、プリザーブドフラワー、書道、アートクレイシルバー、デコラティブアレンジメント、チャイナペイント、カルトナージュ

場 所：テレビ朝日 多目的スペース「umu」（港区）

参加費：材料費（講師費用は事業団負担） 受講生：40～50人（毎回）

主 催：テレビ朝日福祉文化事業団 共 催：さわかやグループ

■第15回クプナ・フラ・フェスティバル

共催・助成

「クプナ・フラ・フェスティバル」は、高齢者自身が、生きがいを持って元気に、より豊かで潤いのある文化的生活をおくるために、フラダンスが健康によいということで注目を集めており、人気が高まってきています。この事業は、1999年国際高齢者年を記念して開催しましたところ、国連をはじめ諸機関から賞賛を得、各方面から開催の要望をうけて現在まで至っています。今回は、2日間で26組、424名の方々が日頃の練習の成果を披露しました。会場も多くの皆さんに集まっていたいただき、参加されたクプナ（ハワイ語で「年配者」の意味）の方々の中には、80歳を超える方も多く、華やかな衣装でハワイアンミュージックの優雅で滑らかな音楽に合わせて踊り、多くの観客の皆さんを魅了していました。また、ゲストにハワイ・マウイ島生まれ、マウイ島育ちのウェヴェヒ・グレエロを迎え素晴らしい歌声を披露していただきました。また、「クプナ・フラ・フェスティバル」参加の主宰者代表にハワイ州知事から感謝状が贈られました。

日 時：平成25年6月28日（金）、29日（土）

場 所：中野サンプラザホール（中野区）

主 催：クプナ・フラ・フェスティバル運営委員会

共 催：テレビ朝日福祉文化事業団、（公財）日本チャリティ協会

後 援：東京都、（公財）全国老人クラブ連合会、

（公財）東京都老人クラブ連合会、ハワイ州、ハワイ州観光局



●第5回国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブ in 横浜」

  特別後援・助成

「国際シニア合唱祭『ゴールデンウェーブ in 横浜』」は、シニアの皆さんが「集い、歌い、語り合い、響きあい」友情の輪を広げ“生き生き長寿社会”の交流の場として、2009年4月に横浜開港150年記念行事の一環として企画、開催され、5回目を迎えました。

今年は、4月15日・16日の2日間、横浜みなとみらいホールという素晴らしい会場で、関東地区だけでなく沖縄県那覇市、岩手県盛岡市、兵庫県神戸市のグループなど73の団体の参加となりました。その他に台湾からのグループも参加し、総勢2,323人という盛大なイベントになりました。

皆さん生き生きと楽しそうに、元気な歌声を披露していました。中でも千葉県から参加の「大原女声 & ドーヨーボーイズ」は、92歳の桑門陽子さんが指揮をし、会場で盛んな拍手喝采を浴びていました。また、事務局長の吉田奈美子さんは88歳ですが、とてもフットワークよく若々しく運営活動をしているのが印象的でした。女優の竹下景子さんによる爽やかな司会進行で、名誉会長・日野原重明さん(聖路加国際病院理事長)のユーモアのある話もあり、イベントは無事に終了しました。

期 日：平成25年4月15日(月)、16日(火)
場 所：横浜みなとみらいホール(横浜市)
主 催：ゴールデンウェーブ開催委員会、横浜みなとみらいホール
特別後援：テレビ朝日福祉文化事業団、(福)朝日新聞厚生文化事業団
後 援：神奈川県、横浜市、(一社)全日本合唱連盟 他

●高齢者への暴力防止プロジェクト助成

  後援・助成

～心豊かに安心して暮らすために～

高齢者を暴力、虐待から守るためのあらゆる活動を応援します。

高齢者への暴力、虐待の防止、予防、ケア、教育、啓発に携わる団体、グループ、新たな事業や、地域で活動する高齢者サークル、自治会、町内会、高齢者支援グループ・団体などが行う虐待防止につながる間接的な取り組みをしている事業などに助成しました。2014年度は全国13団体へ、総額1,009万円。

主 催：朝日新聞社、(福)朝日新聞厚生文化事業団
後 援：厚生労働省、テレビ朝日福祉文化事業団

●ポポロファミリー童謡チャリティコンサート

  後援・助成

①期 日：平成25年6月30日(日)
場 所：ルネこだいら(小平市) 中ホール
②期 日：平成26年3月21日(金・祝日)
場 所：東大和市民文化会館(東大和市) ハミングホール
出 演：山田大輔(テノール)、山田昌子(ソプラノ) 他
主 催：NPO ポポロ(日本と世界の愛唱歌をうたう会)

■障がい者施設への設備助成

◎ 助成

テレビ朝日福祉文化事業団では毎年、資金不足や公的資金援助では充分とはいえない障がい者の皆さんが働く小規模な施設に対し、わずかでも環境改善や効率アップに繋がることを願って、施設の運営に必要な器具等、設備助成を行っています。今年度は20件の応募があり、審査の結果13の施設に対して設備助成を行いました。

当事業団では、平成5年から設備助成を実施しており、今年度で21回目になります。募集期間は例年4月～6月で、1事業施設に対して30万円以内で支援をしています。また5年以内に当事業団から助成を受けたことのある施設は対象外となります。今年度「設備助成」した品目と施設は以下の通りです。

1	ミシン 2 台	おおやまみち	(神奈川県伊勢原市)
2	掃除機 2 台、洗浄機	ナチュラルサポート海老名	(神奈川県海老名市)
3	椅子 10 脚	フレンズ	(神奈川県横須賀市)
4	卓上シーラー、脱気脱水シール	ハーベスト・きくな	(神奈川県三浦市)
5	ノートパソコン、ミキサー、シーラー	このはの家	(東京都豊島区)
6	ミシン 3 台	宝島 ワークゆめひろば	(神奈川県座間市)
7	シルクスクリーンのプリンター	結の会	(東京都八王子市)
8	ノートパソコン 1 台	鎌ヶ谷工房ぼぼ	(千葉県鎌ヶ谷市)
9	折り畳み式テント	草の実	(神奈川県横浜市)
10	冷凍ショーケース、コーヒードリップマシン	生活自立研究会	(千葉県南房総市)
11	電気蒸し器、セイロ、ワークスケール	一の会	(神奈川県横浜市)
12	エアコン 2 台	トントウハウス	(東京都練馬区)
13	エアコン 1 台	花工房カモミール	(千葉県柏市)



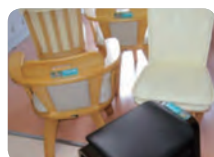
▲パソコン



▲ミシン



▲電気蒸し器



▲椅子



▲掃除機



▲冷凍ショーケース



▲シルクスクリーンプリンター



▲折り畳み式テント



▲卓上シーラー



▲工業用ミシン

■第36回車椅子バスケットボール秋季大会

共催・助成

「第36回車椅子バスケットボール秋季大会」が10月20日(日)に神奈川県平塚市の馬入ふれあい公園ひらつかアリーナで開催されました。この大会は車椅子バスケットボールの底辺拡大とバスケットボールを楽しんでもらうことを目的にしています。

あいにくの雨天でしたが、アリーナの中は選手たちの熱気にあふれ、気迫あふれる試合が展開されました。今年は男女混合チームも含め、A・B・C・Dの4ブロックに分かれて、合計14チームがそれぞれ抜群のチームワークで日頃の練習の成果を競いました。車椅子バスケットボールの醍醐味・迫力は、自分の可能性の限界でプレーする選手の姿から生まれます。ボール、コート of 広さ、ゴールの高さも通常のバスケットボールと同じです。選手の皆さんは仕事が終わったあと、平均して週3回、より速く・より巧みに・より正確にを求めて練習に励んでいます。

優勝はAブロック・栃木レイカーズ、Bブロック・宮城SPARKS、Cブロック・ELFIN、Dブロック・山梨ペンギンズでした。また、近隣の中学生在がボランティアで大会運営に協力している姿が、さわやかな印象を残しました。



日 時：平成25年10月20日(日)

場 所：馬入ふれあい公園ひらつかアリーナ(神奈川県平塚市)

共 催：テレビ朝日福祉文化事業団、(一社)日本車椅子バスケットボール連盟

後 援：平塚市、平塚市教育委員会

内閣総理大臣杯争奪

●第41回日本車椅子バスケットボール選手権大会

後援・助成

日 時：平成25年5月3日(金)～5日(日)

場 所：東京体育館(渋谷区)

主 催：(一社)日本車椅子バスケットボール連盟、(公財)日本障害者スポーツ協会

後 援：厚生労働省、文部科学省、東京都、テレビ朝日福祉文化事業団 他

●日本車椅子バスケットボール第10回ジュニア選手育成講習会

後援・助成

日 時：平成25年8月29日(木)～9月1日(日)

場 所：国立乗鞍青少年交流の家(岐阜県高山市)

主 催：(一社)日本車椅子バスケットボール連盟 強化指導部

ハンディスキー全国親善大会が、1 月 17 日(金)～19 日(日)まで、島根県飯南町で開催されました。

今年で 37 回目を迎えましたが、テレビ朝日福祉文化事業団は第 1 回からこの大会を主催しています。

島根県飯南町は、日本最大級の注連縄(しめなわ)長さ 13.5m、重さ 5.5t を出雲大社に奉納することでも有名ですが、奈良時代の「出雲国風土記」にも登場する神話の山、琴引山にあるスキー場が今回の会場となりました。

1 月 18 日(土) 9 時 30 分、激しい雪と風、厳しい寒さの中、開会式が行われました。

コースは全長 691.5m、スタート標高 705m、フィニッシュ標高 560m、標高差 145m、最大斜度 22.4 度、最小斜度 8.5 度。気温 -1 度、競技会はこの日 1 日のみです。

レースは上級・中級・初級・ゲストメーション(健常参加者)に分かれ、日本全国から集まった 65 名の選手が熱戦を繰り広げました。同じコースを 2 回滑り、2 回のタイム差が一番少ない選手が優勝となります。

この大会は、ハンディキャップのあるなし、年齢や性別にかかわらず、参加者がそれぞれの状況・特性に応じてスキーを楽しみ、競い、また多くの人々とふれあい、互いに理解し、交流を深めながら、ハンディスキーの魅力を広く知ってもらうこと、普及を目的として開催される大会です。

今年は初級にバイスキーが 5 台登場。ソリに椅子をのせたように見えるスキーで、健常者が後ろからサポートします。選手は座位なので目線が低く、速度も大きいので、風を切るスピード感、壮快感を体感できます。日頃、雪に親しむことのない皆さんが、バイスキーで滑った後で表情が一変し、笑顔があふれていたのが印象的でした。

大会役員も心配するほどの悪天候も午後には回復し、大会は無事終了。島根県では初めてのハンディスキー大会でしたが、ハンディをものともせず、人生を前向きに生きる方々の姿は、多くの人々に感動を与えました。



バイスキー



チェアスキー

◆上級男子優勝 齋藤 信治(神奈川県) タイム差 1 秒 81

◆上級女子優勝 神山 則子(兵庫県) タイム差 1 秒 00

◆中級男子優勝 佐々木 稔(秋田県) タイム差 1 秒 28

◆中級女子優勝 渡部 愛美(島根県) タイム差 13 秒 55

◆初級男子優勝 水島 敬之(島根県) タイム差 0 秒 02

◆初級女子優勝 黒川 美和(島根県) タイム差 0 秒 28

◆ゲストメーション男子優勝 今田 勝彦(岡山県) タイム差 0 秒 09

◆ゲストメーション女子優勝 吉川 雲母(愛知県) タイム差 0 秒 06

日 時：平成 26 年 1 月 17 日(金) ～ 19 日(日)
 場 所：島根県飯南町 琴引フォレストパークスキー場(島根県飯石郡飯南町)
 主 催：テレビ朝日福祉文化事業団、日本身体障害者スキー協会
 共 催：(特)日本障害者スキー連盟(SAJD)
 後 援：島根県教育委員会、島根県社会福祉協議会、飯南町社会福祉協議会 他
 協 力：島根県障害者スポーツ協会、島根県立飯南高校 他

●厚生労働大臣杯争奪 第 43 回全国身体障害者スキー大会

  後援・助成

日 時：平成 26 年 2 月 27 日(木) ～ 3 月 1 日(土)
 場 所：赤倉温泉スキー場(山形県最上町)
 主 催：(公財)日本障害者スポーツ協会、(公財)日本身体障害者スキー協会、(特)日本障害者スキー連盟

●第 29 回 関東大会（身体障がい者スキー）

  後援・助成

日 時：平成 26 年 3 月 14 日(金) ～ 16 日(日)
 場 所：丸沼高原スキー場(群馬県利根郡片品村)
 主 催：(公財)日本身体障害者スキー協会 他

●第 28 回全日本視覚障害者柔道大会

  後援・助成

日 時：平成 25 年 11 月 24 日(日)
 場 所：講道館(文京区)
 主 催：(特)日本視覚障害者柔道連盟
 後 援：厚生労働省、東京都、全国盲学校長会、テレビ朝日福祉文化事業団 他

●第 17 回電動車椅子サッカー関東大会

  後援・助成

日 時：平成 25 年 9 月 1 日(日)
 場 所：堀原運動公園 武道館(茨城県水戸市)
 主 催：関東ブロック電動車椅子サッカー協会
 後 援：日本電動車椅子サッカー協会、テレビ朝日福祉文化事業団 他

●第 38 回全日本ろう社会人軟式野球選手権大会

  後援・助成

日 時：平成 25 年 12 月 7 日(土) ～ 8 日(日)
 場 所：潮見野球場(江東区)、夢の島野球場(江東区)
 主 催：全日本ろう社会人軟式野球連盟

●第 7 回全東京ろう社会人軟式野球 TD リーグ戦

  後援・助成

日 時：平成 25 年 6 月 2 日(日) ～ 11 月 10 日(日) 全 5 回
 場 所：城北公園野球場(板橋区) ほか
 主 催：全東京ろう社会人軟式野球連盟

●第 15 回ウィルチェアーラグビー日本選手権大会

  後援・助成

期 間：平成 26 年 1 月 17 日(金) ～ 19 日(日)

場 所：千葉ポートアリーナ(千葉市)

主 催：日本ウィルチェアーラグビー連盟

後 援：千葉市、(公財)日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、
(公財)日本ラグビーフットボール協会、テレビ朝日福祉文化事業団

●第 29 回 DPI (障害者インターナショナル) 日本会議全国集会

  後援・助成

日 時：平成 25 年 6 月 15 日(土)、16 日(日)

場 所：神戸市勤労会館(神戸市中央区)

主 催：(特)DPI 日本会議、

第 29 回 DPI 日本会議全国集会 in 神戸実行委員会

後 援：内閣府、外務省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省、
テレビ朝日福祉文化事業団 他

●はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー 2013

  後援・助成

3 月 8 日(土)、「はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー 2013」の発表・授賞式イベント「第 5 回 はーとふるメッセ実りの集い」が、幕張メッセ国際会議場・コンベンションホールで開催されました。この催しは、千葉県内で働く障がい者の仕事に光を当て、工賃向上の必要性をアピールするとともに、地域での一人ひとりの豊かな社会参加を目指しています。そして、障がい者事業所の最も優れた製品や活動に対して「はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー」の称号を贈っています。

今回の会場は間仕切りを取り払って 2 つの会議室が使われました。広くなった会場には例年通りエントリー全作品の展示や製品の販売などのブースが設置されたほか、新たに働く障がい者の創作展コーナー・工賃向上研究のパネル発表・ちばりサイクルネットの実演などが加わり、盛りだくさんのイベントになりました。

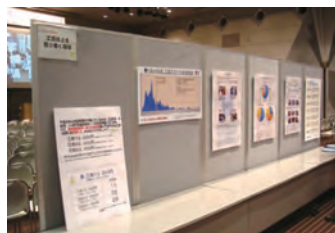
当事業団は、製品部門に＜テレビ朝日福祉文化事業団大賞＞を贈呈しています。今年は、カテゴリーⅠの「食品」69 品目とカテゴリーⅡの「非食品」37 品目の中から、成田市のぞみの園「フルーツスタジオ・フレッシュジュース」に、オリジナルグッズの副賞を添えて大賞を授与しました。これは、バナナ & マンゴー・フルーツミックス・緑の野菜ジュースの 3 点でのエントリーで、水や砂糖、添加物を一切使わない正真正銘 100% のミックスジュースです。他のフレッシュジュースと比べても果物や野菜本来の味が楽しめる濃厚な仕上がりとなっています。果実のカットとジュースを使ったベース作りを利用者の皆さんが行うなど、製品作りへの積極的な関わり方も高く評価されました。デザイン面でも、カラフルでスタイリッシュなロゴマークが効果的でした。

販売部門の＜千葉ロッテマリーンズ大賞＞は、カテゴリーⅠの「合同販売」27 事業所とカテゴリーⅡの「店舗」21 事業所の中から、「C&C スーパーのぞみ野マルシェ」が受賞しました。“福祉と営利と地域の協働の場”の実現を目指した、県内初めてのスーパー業態への取り組みが高評価でした。店内にグランドピアノを設置してコンサートを開催したり、正月・バレンタイン・ひな祭りなど季節のディスプレイを継続的に実施、近隣の高齢者の皆さんへの宅配サービスを開始するなど、地域になくてはならない店舗として定着しつつあります。将来の障がい者福祉の理想モデルの一つと言えます。

そのほか両部門それぞれに優秀賞・奨励賞・審査員特別賞の授与がありました。受賞した事業所はいずれも笑顔で喜びを分かち合い、会場に備えられたカメラへ向かって手を振る皆さんが、正面の大型モニターに映し出されました。

当事業団は、製品部門で受賞した9事業所へオリジナルグッズを贈呈しました。

日 時：平成26年3月8日(土) 11:00～16:00
場 所：幕張メッセ国際会議場コンベンションホール(千葉市)
主 催：千葉県、千葉県障害者就労事業振興センター
後 援：千葉ロッテマリーンズ、テレビ朝日福祉文化事業団 他



●チャレンジキャンプ

🌻🌻後援・助成

日 時：平成25年8月10日(土)～13日(火) 3泊4日
場 所：HCC(ヒゲッチャンプグラウンド)(埼玉県児玉郡)
主 催：児童養護施設カルテット

●第36回わらじの会 夏合宿

🌻助成

日 時：平成25年8月23日(金)～25日(日) 2泊3日
場 所：ホテル平安(山梨県笛吹市)
主 催：わらじの会

●むさしの会サマーキャンプ

🌻助成

日 時：平成25年7月26日(金)～28日(日) 2泊3日
場 所：サンライズ九十九里(千葉県山武郡)
主 催：むさしの会

●Get in touch! 2013

🌻🌻後援・助成

日 時：平成26年3月5日(水)～4月20日(日)
場 所：泉美術館 第1展示室(広島市)
主 催：(一社)Get in touch、(公財)泉美術館
協 力：大額株、ドイツ国際平和村 他

●第30回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

🌻後援

日 時：平成25年8月31日(土)
場 所：第一生命ホール(中央区)
主 催：(一財)全日本ろうあ連盟、朝日新聞社、(福)朝日新聞厚生文化事業団
後 援：厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団 他

その他の障がい者福祉事業・団体への支援

●第51回「弘済学園 わたしたちが創る展」

🌸 後援名義

会 期：平成25年12月2日(月)～6日(金)
 会 場：JR東京駅丸の内北口地下 動輪の広場(千代田区)
 主 催：(公財)鉄道弘済会、(福)東京都社会福祉協議会
 後 援：テレビ朝日福祉文化事業団 他
 特別協力：(株)石原プロモーション



●第61回全国盲人福祉施設大会

🌸 後援名義

日 時：平成25年9月9日(月)、10日(火)
 場 所：ホテルグランドヒル市ヶ谷(新宿区)
 主 催：(福)日本盲人社会福祉施設協議会
 後 援：厚生労働省、東京都、(福)東京都社会福祉協議会、(福)日本盲人福祉委員会、
 (福)読売光と愛の事業団、テレビ朝日福祉文化事業団 他

●わんぱくクラブ育成会「尾崎亜美コンサート」

🌸 後援名義

日 時：平成26年2月8日(土)
 場 所：世田谷区民会館(世田谷区)
 主 催：(特)わんぱくクラブ育成会
 後 援：世田谷区、世田谷区教育委員会、世田谷区社会福祉協議会、テレビ朝日福祉文化事業団 他

■プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント

🌸 助成

神宮球場で行われるプロ野球ヤクルト戦のBOX席の入場券を、(社福)東京都社会福祉協議会 東京善意銀行を通じて毎年プレゼントしています。本年度は、精神障害者地域生活支援センターや通所作業所、就労移行支援センター、知的障害者入所更正施設など、東京都内の障がい者施設などの92施設に、232枚をプレゼントしました。

その他

●第62回東京都社会福祉大会

🌸 協賛名義

日 時：平成25年12月20日(金)
 場 所：東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場(新宿区)
 主 催：東京都、(福)東京都社会福祉協議会、(福)東京都共同募金会

Part ▶ 04 その他事業報告等

Others

特
集

児
童
福
祉

高
齢
者
福
祉

障
が
い
者
福
祉

そ
の
他

◎ドラえもん募金「フィリピン被災者支援」

テレビ朝日では、2013年11月8日、台風30号がフィリピンを直撃し、最大瞬間風速87.5m/sを記録、レイテ島を中心に甚大な被害を受けた被災者を支援するため、11月14日～12月12日までの間「ドラえもん募金」を実施しました。

この募金は、NTTの固定電話とNTTのひかり電話を使ったダイヤルQ2システムで、1回の電話で105円を寄付できるものです。

お寄せいただいた募金総額は、12月13日時点でテレビ朝日からの寄付金などを加えて、2,052万1,620円となりました。

この募金はテレビ朝日福祉文化事業団を通じ、12月16日に以下の3団体に寄託いたしました。

寄託先	金 額
特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画 WFP 協会	700 万円
特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム	700 万円
日本赤十字社	600 万円
計	2,000 万円

寄付金の最終的な金額については、確定次第、ホームページでご報告させていただきます。

◎ドラえもん募金寄託一覧

◆「ドラえもん募金」は、1999年8月の「トルコ大地震」からダイヤルQ2システムを利用して始まりました。また、2011年の「東日本大震災」・2012年の「東日本大震災から1年」は、銀行振込で行いました。

【寄託先】

単位：円

発生日月			震災名			
事業団預かり分						
ドラえもん募金			直接預り金	計	寄託先	寄託金額
ダイヤルQ 2	テレビ朝日	その他				
1999 年 8 月			〔トルコ大地震〕			
38,191,545	3,300,000		1,077,302	42,568,847	トルコ大使館	42,568,847
1999 年 9 月			〔台湾中部大地震〕			
44,120,885	4,000,000		1,335,822	49,456,707	日本赤十字社	49,456,707

【寄託先】

単位：円

発生年月日			震災名			
事業団預かり分						
ドラえもん募金			直接預り金	計	寄託先	寄託金額
ダイヤル Q2	テレビ朝日	その他				
2000 年 4 月			[有珠山噴火]			
19,099,224	1,000,000		1,007,526	21,106,750	日本赤十字社	21,106,750
2000 年 8 月			[伊豆諸島噴火]			
36,781,671	0		1,969,779	38,751,450	東京都	38,751,450
2001 年 1 月			[インド西部]			
38,975,457	2,000,000		3,404,827	44,380,284	インド大使館	44,380,284
2003 年 12 月			[イラン大地震]			
14,136,017	1,000,000		508,100	15,644,117	イラン大使館	6,000,000
					日本赤十字社	9,136,017
					ピースウィンズジャパン	508,100
					合計	15,644,117
2004 年 10 月			[新潟中越地震]			
211,289,200	5,000,000		3,206,730	219,495,930	新潟県災害対策本部	100,000,000
					日本赤十字社	97,495,930
					新潟 NPO 協会	10,000,000
					新潟県手をつなぐ育成会	500,000
					緊急支援物資購入	1,500,000
					新潟県社会福祉協議会	10,000,000
					合計	219,495,930
2004 年 12 月			[スマトラ沖大地震]			
96,555,213	2,500,000	4,320,000	1,588,672	104,963,885	日本赤十字社	94,790,626
					ユニセフ	3,000,000
					ピースウィンズジャパン	3,000,000
					AMDA	4,173,259
					合計	104,963,885
2005 年 10 月			[パキスタン北部]			
29,719,676	2,500,000	4,110,000	49,309	36,378,985	日本赤十字社	26,378,985
					パキスタン大使館	10,000,000
					合計	36,378,985
2006 年 5 月			[ジャワ島中部]			
21,317,012	2,000,000	2,588,803	69,000	25,974,815	日本赤十字社	25,974,815

【寄託先】

単位：円

発生年月日			震災名				
事業団預かり分							
ドラえもん募金			直接預り金	計	寄託先	寄託金額	
ダイヤルQ 2	テレビ朝日	その他					
2007 年 7 月			[新潟中越沖]				
66,837,692	2,500,000	2,190,000	2,095,752	73,623,444	日本赤十字社	39,876,044	
					新潟県中越沖地震災害対策本部	33,747,400	
					合計	73,623,444	
2008 年 5 月			[ミャンマーサイクロン / 四川省大地震 / 国際救援（中国・ミャンマー）]				
106,186,311	4,000,000	4,310,000	4,924,871	119,421,182	中国四川省		
					中国大使館	20,000,000	
					日本赤十字社	27,258,156	
					ジャパンプラットフォーム	10,000,000	
					A M D A	2,551,215	
					計	59,809,371	
					ミャンマー		
					日本赤十字社	27,248,155	
					U N H C R	20,000,000	
					ジャパンプラットフォーム	10,000,000	
					A M D A	1,163,656	
					計	58,411,811	
					国際救援（中国・ミャンマー）		
					日本赤十字社	1,200,000	
					計	1,200,000	
					合計	119,421,182	
2010 年 1 月			[ハイチ大地震]				
41,959,820	2,000,000	2,080,647	329,001	46,369,468	W F P 協会	15,000,000	
					日本赤十字社	16,369,468	
					ジャパンプラットフォーム	15,000,000	
					合計	46,369,468	

特
集児
童
福
祉高
齢
者
福
祉障
が
い
者
福
祉そ
の
他

【寄託先】

単位：円

発生年月日			震災名			
事業団預かり分						
ドラえもん募金			直接預り金	計	寄託先	寄託金額
ダイヤル Q2	テレビ朝日	その他				
2011 年 10 月			[東日本大震災]			
					岩手県	300,000,000
					宮城県	300,000,000
					福島県	300,000,000
					日本赤十字社	504,196,022
					国連 W F P 協会	100,000,000
					ジャパンプラットフォーム	351,834,880
					岩手県「いわての学び 希望基金」	100,000,000
					宮城県「東日本大震災 みやぎこども育英基金」	100,000,000
					福島県「東日本大震災 ふくしまこども育英基金」	100,000,000
					合計	2,156,030,902
2012 年 3 月			[東日本大震災から 1 年]			
					岩手県「いわての学び 希望基金」	37,000,000
					宮城県「東日本大震災 みやぎこども育英基金」	37,000,000
					福島県「東日本大震災 ふくしまこども育英基金」	37,000,000
					合計	111,000,000
					総合計	3,105,166,766

●平成 25 年度 事業一覧

No.	事業名	対象	名義
1	児童養護施設で生活する高校生の海外生活体験の旅	児童	共催
2	児童養護施設児童対象のワークショップ	児童	主催
3	第 2 回子どもキラット! 楽演祭	児童	共催
4	農村ホームステイ体験の旅	児童	共催
5	江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会 2013 野球の部	児童	共催・助成
6	児童福祉施設職員のためのワークショップ	児童	共催・助成
7	第 55 回慈彩会展	児童	後援・助成
8	第 59 回関東甲信越静 里親研究協議会 横浜大会	児童	後援・助成
9	こどもの国 ジャンボカルタ取り大会・どんど焼き	児童	後援・助成
10	「憩いの家」バザー	児童	後援名義
11	日本児童養護実践学会 第 6 回研究大会	児童	後援名義
12	第 6 回「家族週間」子育て童謡コンサート	児童	後援名義
13	IFCO2013 大阪世界大会	児童	後援名義
14	高齢者施設訪問（1 年間で 11 施設訪問）	高齢者	主催
15	けやき坂カルチャー教室（年 10 回開催）	高齢者	共催
16	第 15 回クプナ・フラ・フェスティバル	高齢者	共催・助成
17	第 5 回国際シニア合唱祭「ゴールドデンウエーブ in 横浜」	高齢者	特別後援・助成
18	高齢者への暴力防止プロジェクト助成	高齢者	後援・助成
19	ポポロファミリー童謡チャリティコンサート	高齢者	後援・助成
20	第 5 回トゥレヴァン コンチェルト	障がい者	主催
21	障がい者施設への設備助成	障がい者	助成
22	第 36 回車椅子バスケットボール秋季大会	障がい者	共催・助成
23	内閣総理大臣杯争奪第 41 回日本車椅子バスケットボール選手権大会	障がい者	後援・助成
24	日本車椅子バスケットボール連盟第 10 回ジュニア選手育成講習会	障がい者	後援・助成
25	第 37 回ハンディスキー全国親善大会	障がい者	共催・助成
26	厚生労働大臣杯争奪 第 43 回全国身体障害者スキー大会	障がい者	後援・助成
27	第 29 回関東大会（身体障がい者スキー）	障がい者	後援・助成
28	第 28 回全日本視覚障害者柔道大会	障がい者	後援・助成
29	第 17 回電動車椅子サッカー関東大会	障がい者	後援・助成
30	第 38 回全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	障がい者	後援・助成
31	第 7 回全東京ろう社会人軟式野球 TD リーグ戦	障がい者	後援・助成
32	第 15 回ウィルチェアラグビー日本選手権大会	障がい者	後援・助成
33	第 29 回 DPI 日本会議全国集会	障がい者	後援・助成
34	はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー 2013	障がい者	後援・助成
35	チャレンジキャンプ	障がい者	後援・助成
36	第 36 回わらじの会 夏合宿	障がい者	助成
37	むさしの会サマーキャンプ	障がい者	助成
38	Get in touch! 2013	障がい者	後援・助成
39	第 30 回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト	障がい者	後援
40	第 51 回「弘済学園 わたしたちが創る展」	障がい者	後援名義
41	第 61 回全国盲人福祉施設大会	障がい者	後援名義
42	わんぱくクラブ育成会「尾崎亜美コンサート」	障がい者	後援名義
43	プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント	障がい者	助成
44	第 62 回東京都社会福祉大会	福祉事業者	協賛名義

特集

児童福祉

高齢者福祉

障がい者福祉

その他

◎ 平成 25 年度 収支報告

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 (単位:円)

科 目	金 額
収入の部	
寄付金収入	34,396,311
基本財産基金利子収入	0
運用財産基金利子収入	1,263,259
運用財産利子収入	27,497
雑収入	5
当期収入合計 (A)	35,687,072
前期繰越額 (B)	36,061,169
収入合計 (A+B)	71,748,241
支出の部	
児童福祉費	12,884,728
高齢者福祉費	6,533,155
障がい者福祉費	15,757,959
広報費	1,563,879
緊急援護活動支援費	2,680
フィリピン台風被災者支援費	2,000,000
事務費	2,338,129
人件費	8,450,013
当期支出合計 (C)	49,530,543
当期収支差額 (A-C)	△ 13,843,471
次期繰越額 (A+B-C)	22,217,698

◎ 平成 25 年度 ご寄付者の報告

企業・団体・個人の皆さまからご寄付をいただきました。心から御礼申し上げます。

寄付金合計 34,396,311 円

★一般寄付（敬称略・五十音順）

募金箱 …… 18,047 円（テレビ朝日受付、cafe シェマディに設置）

個人 …… 国府谷 明彦 ほか 4 名

企業・団体 …… 53 社・団体

アラコム(株)、(株)伊佐梅、(株)インターナショナルクリエイティブ、(株)大塚商会、(株)関電工、九州巨人軍愛好会、(株)コマデン、(株)笹谷商事、三建設備工業(株)、(株)サンフォニックス、(株)シービーエス、城南質屋協同組合、新日本プロレスリング(株)、ダイダン(株)、(株)台東サービス、(株)竹中工務店、中央ろうきん社会貢献基金、東京総合警備保障(株)、(株)東京美術、東京原宿ライオンズクラブ、東京六本木ライオンズクラブ、東京労働者福祉協議会、(株)テルミック、(株)テレフィット、西宮神社だるま会、日本歯科衛生協会、日本郵政グループ労働組合東京地方本部、(公財)原田積善会、富士ゼロックス(株)、(株)富士通、(株)ミヤギ、横浜エレベーター(株)東京支店、リゾートトラスト(株)

(株)テレビ朝日、(株)テレビ朝日アスク、テレビ朝日映像(株)、(株)テレビ朝日クリエイト、(株)テレビ朝日サービス、シンエイ動画(株)、(株)テレビ朝日ベスト、(株)テレビ朝日ミュージック、(株)テイクシステムズ、(株)東京サウンド・プロダクション、(株)トラストネットワーク、(株)日本ケーブルテレビジョン、(株)ビーエス朝日、(株)ビデオ・パック・ニッポン、(株)フレックス、(株)文化工房、(株)放送技術社、(株)ロッキングライフ、(株)シーエス・ワンテン 他 1 社

★ 物資などのご協力 1 社

(株)テレビ朝日

平成 26 年 第 6 回 トゥレヴァン コンチェルトのご案内

今回もスペシャルゲストとして、このコンサートでもおなじみになりました、国際的に活躍しているヴァイオリニストの川島成道さんをお迎えして開催します。今年も障がい者の方々を優先して無料ご招待します。詳細はホームページをご覧ください。皆さん奮ってご応募ください。

- ◆日 時：平成 26 年 10 月 18 日(土) 15 時開演(14 時開場)
- ◆会 場：メルパルクホール(港区芝公園)
- ◆出 演：川島成道／木村りえ・りさ／川端みき
Luah（常瑠里子・荒木温子）／ムジークフェライン室内楽団



◎ テレビ朝日福祉文化事業団 役員・評議員

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	職 業
理事長・評議員	早河 洋	株式会社テレビ朝日 代表取締役社長
副理事長・評議員	角南 源五	株式会社テレビ朝日 取締役
理事・評議員	石野 清治	社会福祉法人同愛記念病院財団 会長
理事・評議員	高橋 利一	社会福祉法人至誠学舎立川 理事長 法政大学 名誉教授
理事	山崎 哲男	日比谷見附法律事務所 弁護士 東京六本木ライオンズクラブ
理事	岩尾 總一郎	慶応大学医学部 客員教授 医学博士
評議員	梅木 孝夫	広友ホールディングス株式会社 代表取締役社長 東京六本木ライオンズクラブ
評議員	宮沢 成実	元社会福祉法人東京都社会福祉協議会 総務部企画担当
評議員	岩崎 浩三	日本ソーシャルワーカー協会 常任理事 新潟医療福祉大学 客員教授
評議員	根本 保	元株式会社ビーエス朝日 常勤監査役
評議員	岸田 晟	社団法人日本民生文化協会 理事
評議員	東 ちづる	女優
評議員	大井屋 健治	社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団 事務局長
評議員	椎橋 敏	公益財団法人原田積善会 専務理事
評議員	香山 敬三	株式会社テレビ朝日 経理局長
監事	平田 和子	平田和子税理士事務所 税理士
監事	若穂井 透	日本社会事業大学 専門職大学院 客員教授 弁護士

[ご寄付のお願い]

テレビ朝日福祉文化事業団の活動は、皆さまからのご寄付によって支えられています。
当事業団へのご寄付は、特定寄付金となります。個人の場合は所得税の寄付金控除として、
法人の場合は法人税の損金算入の対象となります。
ご寄付は、当事業団が実施する児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、母子福祉ほか
さまざまな社会福祉事業へ充てさせていただきます。
なお、ご寄付の方法は下記のとおりです。

記

■郵便振替

口座番号 00110 - 6 - 761778

口座名（加入者名）「こころの樹」

※通信欄に「寄付金」とご記入ください。

■現金書留で郵送

〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 森タワー 16階

テレビ朝日福祉文化事業団 行

※連絡先を同封してください。領収書をお送りいたします。

■銀行振込希望の方は、事務局へご連絡ください。

電話 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797

テレビ朝日福祉文化事業団ホームページ

tv asahi 5

ミラクルレディ 毎週土曜 よる6時30分

ホーム 報道・情報・ドキュメンタリー ドラマ・映画 バラエティ 音楽 アニメ・ヒーロー 教育・暮らし スポーツ

tv asahi welfare foundation

テレビ朝日 福祉文化事業団 へようこそ！

文字のサイズ

2013年度
テレビ朝日
福祉文化事業団の
主な活動

児童福祉 高齢者福祉 障がい者福祉

高校生の海外生活体験の旅
みんなの元気を応援します！
応募締切 2014年5月7日（水）必着

農村ホームステイ体験の旅
岩手県遠野の美しい自然の中で農業体験を！
応募締切 2014年6月20日（金）必着

子どもキラット！楽演祭
歌やダンスをステージで発表しよう！
応募締切 2014年6月30日（月）必着

テレビ朝日ドラえもん募金
「フィリピン台風被災者支援」終了のお知らせ
テレビ朝日では、台風30号によるフィリピンの被災者を支援するために「ドラえもん募金」を実施し、日本赤十字社など3団体へ寄附いたしました。

NEWS

「第3回 子どもキラット！楽演祭」開催
歌やダンス発表、ダンスなどステージで発表の機会を設け、多くの児童が参加しました。テレビ朝日福祉文化事業団では、児童参加型で実施するほかにも、地域の「防災まつり」などでも実施しています。5月14日（日）に「第3回 子どもキラット！楽演祭」を開催いたします。多くの児童が参加し、発表を予定しています。

「2014年 高校生の海外生活体験の旅 アメリカ・シアトル」開催
みんなの元気を応援します！「海外生活体験」にご応募ください！締切 5月7日（水）

「2014年第2回農村ホームステイ体験の旅」開催
みんなの元気を応援します！「農村ホームステイ体験」にご応募ください！締切 6月20日（金）です。

<http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/>

テレビ朝日福祉文化事業団 事業報告
2013 年度（平成 25 年度）
年報 こころの樹

発行人 佐藤佳則

2014 年（平成 26 年）5 月 30 日発行
社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団
〒106-8001 東京都港区六本木 6-9-1 森タワー 16F
TEL 03-6406-2195、FAX 03-3405-3797
<http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/>
E-mail:fukushi@tv-asahi.co.jp

※文中の役職等は、その時点での表記といたしました。

※無断転載は禁じます。

copyright© tv-asahi welfare foundation All rights reserved



tv asahi welfare foundation

